



つなぐ手 気仙

学校教育目標

- かしこく (本気)
- やさしく (優気)
- たくましく (元気)



あたたかい春の日差しに見守られ、2月28日(火)、6年生を送る会を行いました。1年生から5年生までの後輩たちが、6年生への感謝の思いを込めて、様々な出し物をしてくれました。



3・4年、キレイのダンス



2年、一緒にゲームしたよ



1年、一緒に踊ったよ!



5年、見事なけん玉!

そのほかにも会場の飾り付け、招待状づくりなど心を込めて準備しました。お返しに6年生からは「ラストコンサート」が上演されました



最後には下級生からの感謝状が渡され、先生方からのスケッチブックメッセージも披露されました。

気仙小学校らしい、本当にあたたかい雰囲気のできた6年生を送る会でした。



素晴らしい歌声に魅了されました

東京混声合唱団演奏会

2月20日(月)文化庁による「子供のための文化芸術鑑賞・体験再興事業」として、「東京混声合唱団学校訪問 in 気仙小」が実現しました。日本最高峰の合唱団です。

ワークショップから始まり、日本の歌、世界の合唱曲に続けて、気仙小学校の校歌も一緒に歌ってくれました。トトロの歌も歌ってくれましたし、「幸せなら手をたたこう」では、みんなで手をたたいたり、足踏みしたり。あっという間に時が過ぎました。アンコールで聞かせてくれた「群青」は圧巻でした。合唱団の皆さん、本当にありがとうございました。



あの日を忘れない 語り継ぎ、未来志向



3月になりました。毎年、3月になると東日本大震災の話題がマスコミを賑わします。今年も様々な角度から震災が語られています。



震災前の長部漁港

気仙小学校の児童は、6年生のほとんどが震災前に、5年生以下は震災後に生まれた子たちです。本人の震災の記憶はありません。それでも、生まれてから今までの人生は、震災からの復興の真っ只中で育った子たちです。ご家庭でも、さぞご苦労があったことと思います。そういう意味で、震災の影響を多大に受けてきた年代だとも言えます。

そんな中、3月7日(火)、今年も「つなぐ手集会」を開きました。震災のことは忘れない。でも、だからこそ前を向いて未来志向で生きていこうという意識を持ってもらいたいとの思いを込めての集会です。

校長講話では、震災前の陸前高田市や、震災前よりもっといい陸前高田にしようと奮闘している若者を紹介しました。そして、次の2つのお願いをしました。



旧気仙中学校校舎

- 1 大人になって、どこにいてもふるさとに思いを寄せ、紹介した若者たちのように、「本気」「優気」「元気」の3つの気をもった頑張る大人になって欲しい。
- 2 自然災害を正しく恐れ、行動することで自分の命、そして他人の命を守る人になって欲しい。



次に K・Rさんが作文を朗読してくれました。家族から聞いた震災の話から震災の間接体験をした話や、トルコ・シリア地震に寄せる思いを話してくれました。

人に寄り添って生きたいというその姿、感激しました。

<「つなぐ手集会」を終えて>

6年生の感想から

- ・もうすぐ3月11日かと思いました。(震災の詳しいことは)ぼくたちには分からないけど、ぼくたちの家族は工夫や助け合ったりしたと聞きました。ぼくたちも日々助け合っているけれども、大人はぼくたちのできないことを日々こなしているんだなと知りました。

(一部抜粋)

おめでとう

日専連

全国児童版画コンクール

◎銅賞

・4年 K Hさん

◎入選

・4年 T Yさん

全国児童画コンクール

◎優秀賞

・2年 K Aさん

陸前高田市体育協会表彰

◎栄光賞

・長部野球スポーツ少年団

◎努力賞

・6年 K Mさん

・6年 K Rさん